

世界最高のホルン奏者
ラデク・バボラーク



柔らかな弦楽の響きで愉しむ、ホルンの名曲。



ミラン・アル＝アシャブ
(ヴァイオリン)



マルティナ・パチョヴァー
(ヴァイオリン)



カレル・ウンターミュラー
(ヴィオラ)



ハナ・バボラコヴァ
(チェロ)

バボラークアンサンブル

2023

土 12/2

14:00開演(13:30開場)

サラマンカホール

全席指定 **S** 5,000円 **A** 3,000円
[サラマンカメイト:**S** 4,500円 **A** 2,700円]

※学生半額(30歳まで)。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取り扱いです。

サラマンカメイト先行発売 2023年9月6日[水]
一般発売 2023年9月13日[水]

※電話・インターネット 9:00～/窓口 12:00～
※スマホの方はネット予約で電子チケットが購入できます。
当日、入場部口でスマホの電子チケットを提示してください。

主催：サラマンカホール

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター

058-277-1110

9:00
～21:30

チケットぴあ t.pia.jp Pコード:244-608
イープラス eplus.jp ファミリーマート

チケットのネット予約は公式サイト
「サラマンカ・オンラインチケット」で

サラマンカホール 検索



ENSEMBLE
BABORÁK

【PROGRAM】 ※曲目が変更になる場合があります。

モーツアルト：ホルン五重奏曲 変ホ長調 K・407—386C

モーツアルト：ホルン四重奏曲(原曲：ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 K・304)

モーツアルト：ホルン協奏曲 第1番 二長調 K・412 & K・514—386B

モーツアルト：ホルン協奏曲 第2番 変ホ長調 K・417

ブラームス(アスマス編)：ホルン五重奏曲(原曲：弦楽五重奏曲 第2番 長調 作品111)



Photo: Václav Jirasek

バボラーク アンサンブル BABORÁK ENSEMBLE

ホルン奏者、指揮者ラデク・バボラークにより創設。主な編成はフレンチホルンと弦楽四重奏であるが、初期の演奏会とプロジェクトのころからフレキシブルで、各作品のスタイルに応じて形を変えている。パートや編成のアレンジはミロシュ・ボク、フランティシェク・シュテルバク、トーマシュ・イレら作曲家との共同作業による。プラハの春音楽祭、スメタナ音楽祭、ヤナーチェク音楽祭等の主要な音楽祭に出演。プラハの聖アグネス教会ではレジデントアーティストを務めた。ベルリンのブーレーズ・ザールからも定期的に招かれている。2016年には初の日本ツアーも行い、モーツァルト・プログラムで全国各地を席卷、NHKでもテレビ収録された。2018年にも再び来日している。レコーディングも多く、2枚のモーツァルト・アルバム、マルティヌー、ニールセン他の作品集、マーラーの歌曲集、そして最新盤はブラームス、グザヴロフ、シベリウスのホルン五重奏曲を集めた作品集をリリースしている。

Radek Baborák

ラデク・バボラーク

ホルン

1976年チェコのパルドヴィツェ生まれ。8歳よりホルンを学び、89年よりプラハ音楽院でベドジフ・ティルシャル教授に師事、みるみるうちに頭角を現していった。プラハ、ジュネーヴ、マルクノイキルヒェンに続き、94年、ARDミュンヘン国際コンクールで優勝、「美しく柔らかな音色」、「完璧な演奏」、「ホルンの神童」と評され、世界の注目を集めた。以来、欧米アジア各地で活発な演奏活動を展開。チェコ・フィル、ミュンヘン・フィル、バンベルク響、ベルリン・フィルのソロ・ホルン奏者を歴任。小澤征爾、パレンボイム、ラトル、ヤルヴィ親子、レヴァイン、アシュケナーズ等トップクラスの指揮者の信頼も厚い。その抜きん出たテクニックと成熟した音楽は常に絶賛されている。室内楽の分野でも、チェコの仲間達と結成した木管五重奏団アフラートゥス・クインテット、バボラーク・アンサンブルでの活動をはじめ、ブロンフマン、シフ、ブッフビンダー、オピッツ、ラクリン、ヤンセン、樫本大進、パユ、マイヤー、ルルー、ポストリッジ、クヴァストホフ等の素晴らしいソリスト達と共演。近年は指揮者としての活躍も目覚ましく、自ら創設したチェコ・シンフォニエッタとともにチェコ国内各地の音楽祭から招かれ、ハイドン、モーツァルトのCDもリリース。その他、ベルリンはじめヨーロッパ各地のオーケストラ、日本でも水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、新日本フィル、名古屋フィル、札幌交響楽団等に客演。2018年から3年間、山形交響楽団首席客演指揮者を務めた。2021年には西ポヘミア交響楽団首席指揮者に就任している。

Milan Al-Ashhab

ミラン・アル＝アシャブ

ヴァイオリン

1992年生まれ。5歳でヴァイオリンを始める。2000年、モストの音楽学校でクヴェトスラヴァ・ハシロヴァーに師事し、その後、テプリツェ音楽院に学ぶ。2012年以降、プラハ芸術アカデミーでイヴァン・シュトラウスのもとで学んでいる。コチアン・コンクール第1位、テレマニ・コンクール第1位、シュポア国際コンクール第2位等を受賞。チェコ・フィル、ヤナーチェク・フィル、ホーファー響等、チェコ国内外で数多くのオーケストラと共演している。

Karel Untermüller

カレル・ウンターミュラー

ヴィオラ

チェコ楽壇の重鎮としての役割を担うヴィオラ奏者。チェコ音楽の象徴ともいえる著名なヴァイオリニスト、ヨゼフ・スーク氏と共演し録音したことが挙げられる。プラハの春音楽祭など数多くの演奏会に出演。ソリストとしてチェコの主要なオーケストラと共演。スーク室内合奏団では長年にわたってヴィオラ首席奏者を務めた。現在はテプリツェ音楽院とプラハ音楽アカデミーで教鞭を執る。

Martina Bačová

マルティナ・バチョヴァー

ヴァイオリン

バボラーク・アンサンブルの主要メンバー。表情豊かでダイナミックな演奏に定評がある。ソロリサイタルを中心に活動し、プラハの春音楽祭等、ヨーロッパの主要な音楽祭に出演。ピアニスト、A. シュターリと共演し、ヤナーチェクやバルトーク、エネスコの作品を録音したデビューCD「Elegant Provocation」は「傑出した録音」として国際的に評価されている。チェコ・シンフォニエッタ、プラハ室内合奏団でコンサートマスターを務める。

Hana Baboráková-Shabuová

ハナ・バボラコヴァ

チェロ

歌うような音色、音楽への情熱は高い評価を得ており、バボラーク・アンサンブルの創立メンバーである。室内楽分野への熱意と献身が高く、ベルリン・フィルやミュンヘン・フィル、チェコ・フィルの団員と数多くの音楽祭に出演。2010年からはチェコ・シンフォニエッタ、プラハ室内合奏団のチェロ奏者として活動している。2000年に「プラハの春」コンクールにてギデオン・クライン賞を受賞。

サラマンカメイトのご案内

特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110 入会申込書を郵送)および、インターネットでも受付しております。
※年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。



客席のご案内

